

愛知県環境影響評価審査会 会議録

- 1 日時 2022年(令和4年)1月17日(月)午前10時から午前11時40分まで
- 2 場所 愛知県三の丸庁舎8階 大会議室
- 3 議事
 - (1) 浜松湖西豊橋道路計画段階環境配慮書について
 - (2) 東三河都市計画ごみ処理場(一般廃棄物処理施設)豊橋田原ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価準備書(変更)について
- 4 出席者
 - (1) 委員
中山会長、大石委員、佐野委員
【オンライン出席】
生田委員、伊藤委員、岡村委員、長田委員、片山委員、上島委員、鷺見委員、塚田委員、富田委員、中野委員、夏原委員、二宮委員、橋本委員、葉山委員、櫃田委員、宮崎委員、義家委員
(以上20名)
 - (2) 事務局
環境局：
岡田環境局長、小野技監、加藤環境政策部長
環境局環境政策部環境活動推進課：
谷口課長、戸田担当課長、鈴木課長補佐、国立主査、中村主任、大島技師
(以上9名)
 - (3) 事業者等
8名
【オンライン出席】3名
(以上11名)
- 5 傍聴人
1名
- 6 会議内容
 - (1) 開会
 - ・ 会議録の署名について、中山会長が鷺見委員と櫃田委員を指名した。
 - (2) 議事
 - ア 浜松湖西豊橋道路計画段階環境配慮書について
 - ・ 浜松湖西豊橋道路計画段階環境配慮書について、別紙1のとおり諮問を受

けた。

- ・ 資料1及び資料2について、事務局から説明があった。

<質疑応答>

【夏原委員】案①のルート上にある風致地区はどのようなものか。

【事務局】岩屋緑地公園や岩屋観音がある岩屋風致地区である。

【葉山委員】今回の配慮書が静岡県内の区間と愛知県内の区間を一緒に評価したものとなっている。愛知県と静岡県の評価が異なったときに、どのような調整がなされるのか。

案②では、動物の重要な種の生息地に影響を与える可能性は小さいと記載されているが、湿地が含まれており、これは生息地として重要な場所となるので、評価として誤っていると考える。

その他、案②及び③では相対的に案①に比べて影響が少ないという言い方が適切だと考える。

【事務局】静岡県と愛知県の評価が異なる可能性があるが、環境への影響を総合的に検討する際には、両県分を総合して評価していくことが必要という考えで記載がされている。

事業予定者は、各県からの知事意見等を踏まえ全区間について環境面からの検討を行うとともに、最終的には、経済面、社会面なども含めて総合的に検討し、判断することとなる。

案②においては、重要湿地との重なりがあることから、事務局からも留意事項として示させていただいた。その他、案①の北側には国の天然記念物にも指定された葦毛湿原が存在している。このような湿地環境にも配慮した計画とすることについては、審査会の意見に入れさせていただきたいと考える。

また、相対的な評価として記載すべきという指摘については、今回の図書は修正することができないため、今後提出される配慮書について、事前に事務局として注意して事業者を指導していく。

【大石委員】3つの案に対して、メリット・デメリットの紹介があったが、単に3つの案として示されているのか、工事面でのメリットなどによってプライオリティー順になっているかなどの考えがあるのか。

また、特に案①だと住居地域との重なりがあるが、その住居地域の密集状況は分かるか。

【事業予定者】3ルート案としては、起点と終点を短距離で接続するために市街地の間を通過する整備案と、市街地や重要な植物種を回避する整備案、その他国道23号を活用する案の3案を設定した。これ以外のルートになると、西側では豊橋市街地を通過することになり、長大トンネルの設置や、市街地に大きな影響の発生ということが懸念されるため、この3案を設定している。

これまで、計画段階評価を実施しており、社会的評価などを考慮すると、プライオリティーとしては案①が高いのではないかという意見をいただいている。

【大石委員】事業側としては、住居地域や自然のことを考慮しなければ、案①が一番

やりやすいという理解で良いか。

【事業予定者】総合的に見て、案①が一番良いと考えている。

【事務局】住居地域の密集状況については、現在は文献調査の段階のため、定量的な把握にまでは至っていない。

- ・ 浜松湖西豊橋道路計画段階環境配慮書について、浜松湖西豊橋道路部会（別紙2）を設置し、その審議が付託された。

イ 東三河都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）豊橋田原ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価準備書（変更）について

- ・ 東三河都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）豊橋田原ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価準備書（変更）について、別紙3のとおり諮問を受けた。
- ・ 資料3、資料4及び資料5について、事務局から説明があった。

<質疑応答>

【長田委員】資料5において、「既存の豊橋市資源化センターのごみ処理施設には、ダイオキシン類等の有害物質が存在している可能性がある。」と記載されているが、アスベストについても触れるべきではないか。解体工事中や廃棄物運搬時などに配慮が必要である。

【事務局】準備書第6章の方法書についての愛知県知事意見に対する都市計画決定権者の見解において、「建築物及びプラントのアスベストの存在について、設計図等の建設時の資料で存在していないことを確認している」との記載があるため、資料5において「アスベスト」の表記を削除した。しかし、資料5の留意事項では、「ダイオキシン類等」と記載しており、今後アスベストが確認された場合には、アスベストも含めて対応していただく予定である。

【長田委員】壁材等に対してもアスベストが存在していないと言える根拠があるのか。

【都市計画決定権者】確認後、回答させていただきたい。

【義家委員】事業面積が当初の計画よりも縮小し、敷地内で新設のごみ処理施設を収めるということなので、時間的・空間的に非常に厳しい建設工事になる。それに対する不安や具体的な疑問点などが63項目の住民意見に表れていると思われる。環境影響評価の観点だけでなく、そういった意見をきちんと吸い上げて、住民の不安を解消していくようなことを心掛けるべきだと思う。

【事務局】事業者としても、現状の施設を稼働しながら狭いスペースで工事を行うことへの環境面・安全面の配慮等をしていくことと思うが、工事時の配慮等について事業者を確認していきたい。

- ・ 傍聴人の退出後、議事を再開し、希少な動植物の位置情報に関する審議を行った。

【橋本委員】

【都市計画決定権者】

【橋本委員】 そのような説明があった方がよかったのではないか。

【葉山委員】

【都市計画決定権者】 ライフサイクルを完結しているかどうか断言は難しいが、確認された個体は、そこで生活しているものと考えている。

【葉山委員】 今後の対応として、南側の環境との繋がりを改善するような保全対策も、メニューとして組み込むと良い。

【都市計画決定権者】 スロープの設置など、外界にニホンイシガメがアクセスできるような対策がとれないかどうかということを検討しているところである。

【塚田委員】

【事務局】 工事業者との意思疎通について、今後事業者を指導してまいりたい。

- ・ 傍聴人の再入室後、議事を再開した。
- ・ 東三河都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）豊橋田原ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価準備書（変更）について、豊橋田原ごみ処理施設部会（別紙4）を設置し、その審議が付託された。

（3）閉会

3 環 活 第 4 6 4 号
令和 4 年 1 月 17 日

愛知県環境影響評価審査会
会長 中山 恵子 様

愛知県知事 大 村 秀 章



浜松湖西豊橋道路計画段階環境配慮書について（諮問）

このことについて、愛知県環境影響評価条例（平成 10 年愛知県条例第 47 号）第 32 条の 2 において準用する同条例第 4 条の 7 第 4 項の規定に基づき、貴審査会の環境の保全の見地からの意見を求めます。

担当 環境局環境政策部環境活動推進課
環境影響・リスク対策グループ
電話 052-954-6211（ダイヤルイン）

愛知県環境影響評価審査会 浜松湖西豊橋道路部会構成員

委員名	所属等
おおいし やさき 大石 弥幸	大同大学名誉教授
おかむら きよし 岡村 聖	名古屋産業大学現代ビジネス学部教授
かみじま みちひろ 上島 通浩	名古屋市立大学大学院医学研究科教授
すみ てつや 鷺見 哲也	大同大学工学部教授
なかの まさき 中野 正樹	名古屋大学大学院工学研究科教授
なつはら よしひろ 夏原 由博	名古屋大学名誉教授
はやま よしかず 葉山 嘉一	公益財団法人日本鳥類保護連盟評議員
ひつだ たまみ 櫃田 珠実	名古屋芸術大学芸術学部教授
みやざき たえこ 宮崎 多恵子	三重大学大学院生物資源学研究科准教授

(敬称略、五十音順)

3環活第463号
令和4年1月17日

愛知県環境影響評価審査会
会長 中山 恵子 様

愛知県知事 大村 秀章



東三河都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）豊橋田原ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価準備書（変更）について（諮問）

このことについて、愛知県環境影響評価条例（平成10年愛知県条例第47号）第20条第4項の規定に基づき、貴審査会の環境の保全の見地からの意見を求めます。

担 当 環境局環境政策部環境活動推進課
環境影響・リスク対策グループ
電 話 052-954-6211（ダイヤル）

愛知県環境影響評価審査会 豊橋田原ごみ処理施設部会構成員

委員名	所属等
いくた きょうこ 生田 京子	名城大学理工学部教授
いとう ゆき 伊藤 由起	名古屋市立大学大学院医学研究科准教授
おおいし やさき 大石 弥幸	大同大学名誉教授
おさだ かずお 長田 和雄	名古屋大学大学院環境学研究科教授
かたやま なおみ 片山 直美	名古屋女子大学健康科学部教授
たしろ むつみ 田代 むつみ	名古屋大学未来社会創造機構特任講師
つかだ もりお 塚田 森生	三重大学大学院生物資源学研究科教授
なつはら よしひろ 夏原 由博	名古屋大学名誉教授
にのみや よしひこ 二宮 善彦	中部大学工学部教授

(敬称略、五十音順)